Chapter 10

商店街から発信する住民主体のシティプロモーションモデル

1 社会資本の概要

京都府の南部、京都市と大阪市の間に位置する長岡京市は交通の便がたいへんよく、特に阪急長岡天神駅を挟んだ中心市街地の東西約800mに及ぶ長岡中央商店街のある府道伏見柳谷高槻線（通称アゼリア通り）は、買い物客や通勤者、観光客など日中は多くの人々の往来で賑わっています。

商店街では地域に密着したきめ細かなサービスを展開するとともに、子どもたちや若者を活動に参画させることにより、社会資本としての充実と存在感を高めています。

自作LEDランプの設置

商店街フラッグ

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

長岡中央商店街では各店舗の後継者問題や地域の少子高齢化、近隣都市への大型商業施設出店などにより加盟店が減少し、賑わいが失われるばかりでなく、街の安心と安全を守る商店街灯の維持すら困難な状況に陥っていました。

そこで、商店街では商店街灯のLED化に向け、商店街地域創生委員会「チームアゼリア」を結成し、当時市販されていなかった街路灯用LEDランプの自作に取り掛かりました。完成したLEDランプには、街への愛着を持ってもらおうと、LEDランプ作りを手伝った地域の子どもたちの名前やイニシャルが書き込まれています。

その後も、商店街のメインストリートであるアゼリア通りをフィールドとし、将来を担う若者が中心となって、七夕まつりや花いっぱい運動、オリジナル貸傘、打ち水大作戦、環境絵画コンクールなど、地域の子どもたちを巻き込みながら環境活動を行っています。商店街は行政、市教育委員会、小学校、市民環境団体等、地域の多様な主体が協働する場でもあり、地域の創生に向けた情報発信を続けています。

花いっぱい運動

打ち水大作戦

京都府長岡京市

長岡中央商店街振興組合 地域創生委員会 チームアゼリア

3 活動の成果や波及効果等

チームアゼリア結成のきっかけとなった自作LEDランプは、地元小学校の環境教育プログラムとして組み込まれ、LEDランプ組立授業は校区の小学校で毎年実施されています。

市や教育委員会と連携して行っている環境絵画コンクールは、毎年市内の小学４年生全員が受ける環境出前授業の成果として行っています。最優秀賞は市のごみ収集車に描かれるとともに、市の環境フェアで表彰されるなど広く啓発され市民の環境意識の向上に寄与しています。

小学校教科書に掲載された商店街の活動

環境絵画コンクール

喜びの声

受賞者

長岡中央商店街振興組合
地域創生委員会　チームアゼリア

コメント

この度は、たいへん歴史のある国土交通省の手づくり郷土賞に認定いただき、光栄であるとともに、身が引き締まる思いがしております。

今回の認定を励みとし、今後も若い世代を中心とした人と環境にやさしい郷土づくりに邁進していきたいと考えております。ありがとうございました。

活動内容

学生が中心となった子どもたちを巻き込んだ地域活動

活動の経緯

平成２０年　自作LEDランプ作製
平成２４年　オリジナル貸傘作製
平成２５年　環境絵画コンクール

所在地

京都府長岡京市天神～開田地内

活動主体及び連絡先

長岡中央商店街振興組合
地域創生委員会 チームアゼリア

対象となる社会資本

長岡中央商店街アゼリア通り
（府道伏見柳谷高槻線）
※管理者：長岡京市、長岡中央商店街振興組合